

# 健康保険料率・介護保険料率を改定します

## 3月分保険料(4月度給与引落とし分)から

2019年度およびその後の予算編成に必要な保険料率を設定しました。  
みなさまのご理解・ご協力をお願いいたします。

「My Health」98号において、IBM 健保組合の財政状況および今後の見通し等をご説明し、2019年度から保険料率の改定が是非とも必要であり、検討中であることをご報告しました。検討の結果、この3月分保険料(4月度給与引落とし分\*)から健康保険・介護保険ともに保険料率を改定させていただくこととし、2月15日の第163回組合会において承認されましたので、お知らせいたします。

\* 3月度給与引落としの事業所を含みます。

みなさまとご家族の医療費や納付金等は  
カーブが緩やかになるに過ぎません。一方、  
改定後も2019年度の積立金等は減少  
していただくことになりました。

すなわち、現行の保険料率を維持した場  
合では、必要となる積立金等が2020年  
度にはマイナスとなって予算が組めない  
ため、2019年度から保険料率を改定し  
ておくことが必要となり、今回改定をさせ  
ていただくことになりました。

IBM健保組合の財政は、医療費および  
高齢者医療制度への納付金の増大が続い  
てきたため、収入の不足分を補ってきた積  
立金等(別途積立金・繰越金)が減少、こ  
のままでは2019年度にほぼ底を突く  
ことが現実となっております。

**健康  
保険**  
急激な負担増を緩和するため、  
段階的に引き上げます

### 改定後の保険料率

※負担割合は被保険者と事業主で折半

#### 健康保険料率

2月分保険料までは68.4 / 1000

2019年度	71.5 / 1000
2020年度	77.4 / 1000
2021年度	82.0 / 1000
2022年度	87.9 / 1000

※2020年度以降は現時点での計画値です。

#### 介護保険料率

2月分保険料までは10.0 / 1000

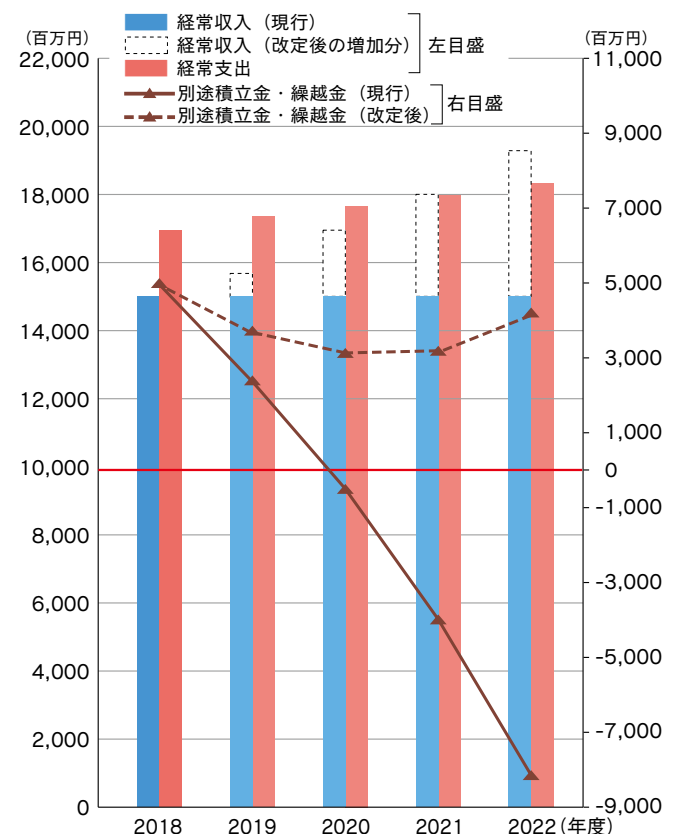
2019年度～ 17.0 / 1000

IBM健保組合では、今後も適正な事業  
運営に努めてまいりますので、みなさまに  
おかれましても、無駄な医療費支出のない  
よう、より一層のご理解・ご協力をお願い  
いたします。

そのため、グラフ①のように2019年  
度以降、収入が支出の伸びを下回らない程  
度で、かつ積立金等も一定程度の水準が確  
保できる程度の改定率を設定し、段階的に  
実施することといたしました。

2019年度以降も毎年度増加していく  
ことが見込まれており、それに対応するに  
は、その後も改定が必要となります。そこ  
で、支出の伸びに対応した、最低限の改定  
を毎年度実施していくことといたしましたし  
ます。

グラフ① 健康保険料率改定後の財政見通し  
(現行料率の場合と比較)



※2018年度は予算ベース、2019年度以降は推計

### 改定後の保険料率も 低い水準にとどまります

全国の健保組合の保険料率は平均で91.67 / 1000 (2017年度)であり、それと比較すると、IBM 健保組合の現行の保険料率 (68.4 / 1000) がいかに低い水準であるかがわかります。さらに、今回の改定によって71.5 / 1000 (2019年度) となっても、まだ低い水準にとどまっているといえます。

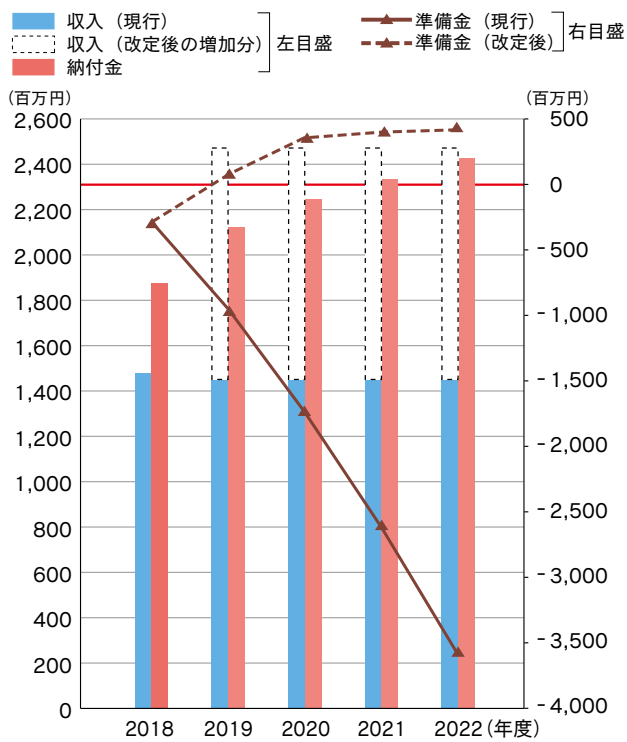
# 介護保険

介護納付金に対する  
収入および準備金の不足を  
解消します

高齢化の進展に伴い、介護費用は年々増大、それに対応する給付を賄うために健保組合が納めている介護納付金も増え続けているため、その水準に見合った保険料率の設定が必要になります。

IBM健保組合では、今まで保険料収入の不足分に準備金を充てて現行の保険料率を維持してきましたが、2018年度には準備金はすでにマイナスとなりました。

グラフ② 介護保険料率改定後の財政見通し  
(現行料率の場合と比較)



※2018年度は予算ベース、2019年度以降は推計

ため、健康保険の会計から繰り入れることで収支のバランスを図りました。しかし、IBM健保組合の納付金は2019年度以降もさらに増大し、今後も大幅な準備金不足が続くことが見込まれることから、現行の保険料率10・0/1000を17・0/1000に引き上げて対応することといたしました。

その結果、グラフ②のように、当面は収支の状況は改善され、準備金も一定の水準が確保できるものの、2022年度には収支はほぼ拮抗する状況となることが予想されています。

## 改定後の保険料 (例)

※現役社員の例 ※健康保険料は2019年度分

### 健康保険料

〈現行の保険料率〉

〈改定後の保険料率〉

<b>2018年度</b> 負担割合 (被保険者 34.2 / 1000) 68.4 / 1000	➡	<b>2019年4月度給与分</b> 負担割合 (被保険者 35.75 / 1000) 71.5 / 1000
---	---	---

たとえば、標準報酬月額\*が30等級、50万円だとすると、被保険者が負担する保険料は

1ヵ月 775円のUPです 1ヵ月 775円のUPです
1ヵ月 775円のUPです 1ヵ月 775円のUPです
1ヵ月 775円のUPです 1ヵ月 775円のUPです
1ヵ月 775円のUPです 1ヵ月 775円のUPです

**現行**  $500,000 \times 34.2 / 1000 = 17,100$ 円 (1ヵ月の保険料)
 **改定後**  $500,000 \times 35.75 / 1000 = 17,875$ 円 (1ヵ月の保険料)

### 介護保険料 (40～64歳の方がIBM健保組合に納めます)

〈現行の保険料率〉

〈改定後の保険料率〉

<b>2018年度</b> 負担割合 (被保険者 5.0 / 1000) 10.0 / 1000	➡	<b>2019年4月度給与分</b> 負担割合 (被保険者 8.5 / 1000) 17.0 / 1000
--	---	---

たとえば、標準報酬月額\*が30等級、50万円だとすると、被保険者が負担する保険料は

1ヵ月 1,750円のUPです 1ヵ月 1,750円のUPです
1ヵ月 1,750円のUPです 1ヵ月 1,750円のUPです
1ヵ月 1,750円のUPです 1ヵ月 1,750円のUPです
1ヵ月 1,750円のUPです 1ヵ月 1,750円のUPです

**現行**  $500,000 \times 5.0 / 1000 = 2,500$ 円 (1ヵ月の保険料)
 **改定後**  $500,000 \times 8.5 / 1000 = 4,250$ 円 (1ヵ月の保険料)

\*あなた (現役社員) の標準報酬月額は給与明細で確認できます。